

**連結・単体共に中間営業収益・純利益は過去最高！
社員と家族の労苦に応えよ！
3.5ヶ月プラス商品券5万円支給を勝ち取ろう！**

2014年度年末手当第2回団体交渉

本部は11月4日、2014年度年末手当第2回団体交渉を開催し、3.5ヶ月満額支給と5万円分の商品券獲得に向け、議論を行いました。詳細は『業務速報932号』を参照して下さい。

組合は「中間決算は経常利益が減となったものの、営業収益と純利益は過去最高となった。これは社員の安全・安定輸送に向けた努力があったからこそである。また純利益が増加した大きな要因は法人税減税であり、それは労働者の賃金向上が目的のひとつだったはずだ。さらに新幹線開業50周年である。要求通りの年末手当と商品券5万円分を支給すること」を強く要求しました。会社は「社員の努力は承知している。経常利益の減ということは厳しい決算だったともいえる。収益の増だけではなく、世間相場、当社の賃金水準、当社の事業目的、など様々な要素を勘案して支給水準を決定する。法人減税分をすべて賃上げに回すわけにはいかない。投資しなければならない分野もある」などと、年末手当増額支給を押しさえ込む主張を行いました。また、新幹線開業50周年を記念して特別に手当や記念品を支給するつもりは全くないと回答しました。

昨年の交渉時、会社は「年末手当支給は単体（JR東海）の営業収益から考える」と主張していました。単体の営業収益は過去最高なのです。3.5ヶ月は十分支給可能な数字です。会社は社員の努力と家族の協力で満額回答で応えるべきです。

11月7日の第3回団体交渉で会社の回答があります。

経常利益の減を抑制の理由にするな！